

2002年6月4日

いすゞ 小型トラック 『エルフ』 を改良

－平成15年排出ガス規制（新短期規制）に国内初の適合－

いすゞ自動車(株)は、小型トラック「エルフ」に、平成15年（新短期）排出ガス規制に適合（*1）させた、新開発エンジンを搭載するなどの改良を行ない、次世代環境対応トラック「ELF-KR」として、6月5日より全国一斉に発売する。（*1：一部車型を除く）

新型エルフは、環境性能 No.1 を開発の狙いとして、平成15年（新短期）排出ガス規制に適合させた他、粒子状物質減少装置「PMキャタコンバータ」を標準装備（*2）とし、東京都環境確保条例にも適合させた。

さらに七都県市／東京都、六府県市の指定低公害車制度にも適合している。（*2：一部車型はオプション）

近年、環境への取り組みは、あらゆる企業において社会的責任となっており、荷主企業にとって、物流の環境負荷軽減が必須の時代となってきている。

そうした中、自動車メーカーには、環境対応型のディーゼルエンジン車の開発が強く望まれており、とりわけ市街地配送の用途が多い小型トラックの早期投入ニーズが高まっている。

今回いすゞは、これらの社会的・時代的要請に応えるため、環境性能の改善を最優先として、平成15年排出ガス規制施行時期に大幅に先行して、「ELF-KR」シリーズを発売することとした。

「エルフ」は1959年の誕生以来、経済性や使い勝手など、常にユーザーニーズに配慮した商品を展開し、市場から常に高い評価を獲得してきた。

今回の「ELF-KR」シリーズは、排出ガスのクリーン化に加え、騒音の低減、トランスミッションの改良を実施すると共に、フロントグリルをはじめとする外観のリフレッシュを図っている。



いすゞエルフ「ELF-KR」
 <撮影用特別仕様車>02-06

<目標販売台数> エルフシリーズ全体で 3,500台/月

<エルフ 東京地区希望小売価格> (消費税含まず)

			主な仕様	東京地区 希望小売価格
KR-NKR81EA-6EXAN	4 HL 1 N (130馬力)	2.0トン	平ボディ、標準キャブ、ショートボディ、ABSデュアルモードMT、アイドリングストップ	3,056,000円
KR-NKR81EA-5EXAN	4 HL 1 (140馬力)	2.0トン	平ボディ、ハイキャブ、ロングボディ、ABSデュアルモードMT、アイドリングストップ	3,341,000円
KR-NPR72LAR-5XLA	4 HJ 1 (155馬力)	3.5トン	平ボディ、ワイドキャブ、ロングボディ、ABSデュアルモードMT、アイドリングストップ	3,870,000円

KK-NHR69EA-4CXA	4 JG 2 (94 馬力)	1. 5 トン	平ボディ、標準キャブ	2, 1 1 7, 0 0 0 円
-----------------	-------------------	---------	------------	-------------------

<商品概要>

1. 平成15年排出ガス規制（新短期排出ガス規制）適合

（現行平成10年規制値に対し、NOx 約 30%、PM 約 30%、HC 約 80%、CO 約 70%低減）

☆最新ディーゼルエンジン技術の投入

- コモンレール式超高压燃料噴射システム → PM・黒煙、NOx の低減
－超高压噴射による燃焼効率向上と燃焼の最適化を実現。
- フル電子制御 →NOx の低減
－燃料噴射量、噴射圧力、噴射タイミングをきめ細かく精密に制御。
- クールド EGR →NOx の低減
－高温の排出ガスを冷却した上で再度吸気系に戻すことにより、燃焼温度の引き下げを実現。
- PMキャタコンバータ（酸化触媒） → PMの低減
－排出ガス中のPMの内、未燃HC（炭化水素）、潤滑油HCを触媒により酸化させ、水と二酸化炭素に変換。
- 16バルブ化 → PM・黒煙の低減 －シリンダへの吸入・排気効率を向上。

☆エンジン展開

形式		排気量(cc)	最高出力 (ネット値) (PS/rpm)	最大トルク (ネット値) (kg・m/rpm)	平成15年 排出ガス 規制	平成17年 東京都 環境確保条例
4JG2	継続	3059	94/3600	20.6/1800	未	オプション対応
4HL1N	新開発	4777	130/3000	33.9/1500	適合	適合
4HL1	新開発	4777	140/3000	33.9/1500	適合	適合
4HJI	改良	4985	155/3100	37.0/1500	適合	適合
4HKI-T	継続	5193	170/2900	45/1600	未	適合

2. 平成12年/13年騒音規制適合

- 騒音カバーの追加
 - サイレンサーの変更
 - －酸化触媒内蔵サイレンサ採用。（4 J G 2 搭載車はオプション）
 - －ポストサイレンサ追加：上記サイレンサの下流に小型のサイレンサを追加。
 - 騒音法規制項目外のアイドリング騒音についても大幅に低減
3. デュアルモードMTの改良

- クラッチ盤磨耗量表示機能追加
- H S A（坂道発進補助装置）のギヤイン作動化

4. 新型マニュアルトランスミッションの採用（一部車型を除く）

- 剛性感の高いシフトフィーリングを実現
- 新アルミ筒型ケースを採用し軽量化

5. 外観のリフレッシュ化

☆フロントデザインをメタリック基調として、都会的ですっきりした上質感を演出した。

- ラジエータグリルのデザインを一新
- オーナメント類をメタリック塗装
- カラーキードバンパーを採用

以上